

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 2375601016 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人嘉祥福祉会 | | |
| 事業所名 | グループホームあま恵寿荘 | | |
| 所在地 | 愛知県あま市二ツ寺西高須賀2番地 | | |
| 自己評価作成日 | 平成29年 9月22日 | 評価結果市町村受理日 | 平成30年 1月17日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kan=true&JiyosyoCd=2375601016-004PrefCd=23&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 中部評価センター | | |
| 所在地 | 愛知県名古屋市中区左京山104番地 加福ビル左京山1F | | |
| 訪問調査日 | 平成29年10月10日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

個々の生活リズムや今までの習慣を出来る限り大切に、あくまでも入居者のペースを大事にすることを忘れないよう気を付けている。また、入居者にとってはもちろん、家族にとっても訪れやすく、長居のしやすい施設となるよう、面会時に各職員が積極的に話をするよう心掛けている。またくつろぎやすい環境作りや、居室への案内等行っている。また、ここ数年継続して行っている福祉まつりへの作品展示や、敬老会への参加を今年も行き、さらに、施設全体として地域の音楽サークルの方々に月に1回慰問に来てもらっている縁により、そのサークル主催の音楽会へ出演をすることが出来た。地域の方々に歌を披露する機会を持って、グループホームという施設を知ってもらいきっかけにもなった。また現在、地域の商店へ衣類の移動販売が行えないか話し、今後行えるよう話が進んでいるところである。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは特別養護老人ホームに併設している。周りは工場が多く近隣を歩く住人もいないが、今年度、地域に向けた新たな取り組みを始めた。歌好きな利用者が多く、毎月歌を決め練習をしていることや、地域の「音楽サークル」のボランティアとも顔馴染みの関係が出来たことから、地域の「音楽会」の参加が実現した。あま市のキャラクターから命名した「あまケローズ」として舞台に立ち、利用者の自信に繋がっている。
「車椅子でもゆっくり試着したい」「ホームに衣料の販売が来ると、選んで買える」等の職員の要望が運営推進会議で討議され、地元衣料店の訪問販売に結びついた。職員の定着率(3年以上の勤務が80%以上)の良さが、ホームの目標“地域の中で普通の生活を送る支援”を可能としている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|--|---|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | “その人らしさ”や“普通の生活”が施設へ入居されても継続して送ってもらえるよう、できる限り以前の習慣を大切にしたり、地域とのつながりが切れないよう、地域の行事に積極的に参加するよう心掛けている。 | 理念として「その人らしさ」を掲げ、日々実践している。今までの生活・習慣を大切に、編み物や歌、家族との旅行等の継続支援に努め、利用者のその人らしさを活かした暮らしの支援に努めている。 | 理念、目標は職員に浸透しているので、個人目標を掲げ、具体的実践に結び付けていくことを期待したい。 |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 月に1回地域のボランティアの方が歌の慰問にいられて、そのつながりで、今年度は地域で行われた音楽会に入居者と職員で参加することが出来た。また敬老会や福祉まつりにも継続して参加している。 | 中学生の福祉体験、ボランティアの受け入れを積極的に行い、地域が開催する音楽会に出演している。市の福祉祭りにはブースが設けられ、利用者の作品を出展したり、敬老会に参加する等、活発な交流をしている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 福祉まつりへ作品を展示したり、地域で開催された音楽会へ出演したりすることで、地域の方々がグループホームを知り、理解を深めるきっかけになればと考えている。また、ホームページ上で日々の様子や、行事の様子を紹介している。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 外部評価の結果と今後の目標についての報告や、毎回行事報告や入居者の状況報告を行い、その際市の職員より移動販売が行える地域のお店がないか聞き紹介していただいた。現在地域のお店と交渉中である。 | 同法人グループホームと合同で、運営推進会議を年6回開催している。ホームからの報告に留まらず、参加者からの意見・アドバイスを受けて、今年度、地元の衣料訪問販売が実施される。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議や市のグループホーム連絡会等、定期的に意見交換ができる機会があり、協力関係も築けている。地域資源について何か活用ができるものがないか等の相談も行っている。 | 運営推進会議には、市又は地域包括支援センターが参加しており、ホームの実情を把握している。グループホーム連絡会で、運営推進会議の議事録を統一し、市の窓口で議事録を閲覧できるようになった。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 施設全体で委員会を設けて、毎月1回委員会を行い事例検討している。また、毎年内部研修を行い、身体拘束についての理解を深めるよう努めている。玄関の施錠は出来る限り行わないようにしているが夜間防犯上の為の施錠は行っている。 | 玄関や施設内の施錠はない。法人内の身体拘束委員会に毎月参加して事例検討等を実施し、内部研修を通して職員の意識向上を図っている。言葉による拘束についても意識を持ち、職員同士が注意し合い、拘束に繋がらないよう取り組んでいる。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 施設全体で毎年内部研修を行い、虐待とはどういったものなのか、今までの自分たちの介護を見直してもらおう機会を作るよう努めている。お互い、声掛けについては注意しあうよう日頃から気を付けている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護についての制度は外部研修の中で学んでいるが、一部の職員にとどまり、非常勤職員等への研修の機会は作れていないの現状である。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書の内容については必ず口頭で説明をし、その都度疑問点がないか聞きながら行っている。また、入居時にご家族のプランや生活上の希望を聞き、重度化した際の意向も併せて聞いている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議の際、入居者や家族、市の職員等が交流する機会を毎回設けるようにしている。また、面会の際には、ご家族へ今の状態報告をし、何か要望等ないかその都度聞いている。 | 家族会・運営推進会議・夏祭り・面会等の機会に、家族の意見を直接聞き、来訪時には利用者の様子を伝えている。家族との関係も良好で、ホーム菜園は家族から苗の提供を受け、菜園作りも手伝ってもらっている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | その都度ミーティング等を設けて意見交換をし、出来る限り各職員の意見が反映されるようにしている。管理者のみで判断がつかない際には代表者に相談を行っている。 | 管理者は日頃から職員の意見・提案を聞き、ホーム運営に反映させている。職員の提案から居室の床の絨毯がフローリングに替えられ、地元衣料店の訪問販売が実現しており、信頼関係は構築されている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 人員についてはその都度管理者から上司へ相談をしている。出来る限り本人が得意としている仕事の割り振りをし、やりがいをもちながら仕事が行えるようには努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 可能な限り外部研修の機会を設けている。内部研修は全体会議の中で毎月行っている。ただ、非常勤職員にまで研修の機会がいきわたってない現状もある。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 年に1回市内のグループホームの連絡会への参加をし、情報交換を行っている。法人内のグループホーム間ではお互いのサービスの質の向上のため密に情報交換をし、合同で行事を行ったりしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 担当職員を中心に、その方がどんな生活を望まれているか見極めながら、出来る限り会話をする時間をもち、安心して暮らせるよう努めている。ホーム内での本人の役割となるものをできるだけ早く見つけるよう配慮している。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 契約時にケアに対して希望や介護計画についての要望等必ず聞き、出来る限りその要望に添えるよう努めている。また面会時等に話をする時間をたくさん持つように気を付けている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 契約時には家族にどんな支援を求められているのか確認し、また在宅時のケアマネジャーや利用していたデイサービスの職員等へ意見を聞き、何が一番必要としているのか見極めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 一緒に食事の準備や畑仕事をしてもらっている。その中で、職員が入居者に教えてもらいながら野菜を植えたりしている。また他入居の世話をやいている時にもすぐ職員が間に入らず見守っていることもある。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時には必ず声を掛け、日々の様子を伝え、信頼関係を築けるよう努めている。また、家族や来訪者が長時間過ごしやすい環境づくりや声掛けをするよう配慮している。また、可能な限り、家族との外出や外泊ができないかお願いしている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 併設のデイサービスを以前使われていた方が、デイの職員や利用者とな話が出来る機会を設けたりしている。また、敬老会や福祉まつり等の地域の行事に積極的に参加するよう心掛けている。 | 家族の協力を得て、美容院、墓参り、葬儀、旅行好きな利用者が家族帯同の毎月1泊2日の旅行に出かけている。敬老会での知人との交流やデイサービス職員に会いに行く等、関係継続に努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 共有スペースでの席については、入居者同士の普段の生活の様子から合う方向同士を近くの席にするよう配慮している。また、耳の聞こえない方にはホワイトボードを使用したり、職員が間に入るなどしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 併設施設へ入居された家族とは、行事や面会時に会う際は声を掛け、話しを聞いたりしている。病院へ入院され一旦退居となっても状態によってはもう一度再入居ができないか相談にもものっている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 出来る限り、本人にどんなことをして過ごしたいかを聞く為、1対1で話ができる機会を持つよう気を付けている。またそれが難しい場合は普段の表情等から読み取れるよう努めている。 | 日々の生活の中で挨拶を大切に、相手の話す言葉を遮らないように、聞く姿勢を大切にしている。あまり話さない利用者のつづきを、1対1の夜勤時に聞き取り、家族の協力で墓参りが実現した事例がある。 | 聞き取った「思い」を記録に残し、思いや意向を介護計画に繋げ、職員が共有できるような、一連の仕組み作りを期待したい。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 事前に家族やケアマネージャー、利用していた事業所の職員にこれまでの生活歴や、介護の実際について聞き取りを行い、把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 個人ごとのケース記録を時系列でとり、普段の様子の中で気になったことを記入し、把握に努めている。その他、周辺症状が悪化した際には、状態の把握や、主治医への報告のため、別紙記載を行っている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月に一回のカンファレンスを行い、介護計画の見直しを行っている。また面会時にご家族へプランについてなにか希望はないか聞き、プランによっては家族の協力をお願いしている。 | 面会時等に家族の意見を聞き、毎月担当者によるモニタリング、計画作成担当者等によるサービス担当者会議を開催している。思いや意向の入った計画書であり、目標実現に向けて支援している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ケース記録は常勤・非常勤にかかわらず、すべての職員がその都度その日に気になったことを記入し、情報共有を行っている。ただ、行ったものが中心になってしまい、気づきがあまり記載されていない現状でもある。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | グループホームでの入浴が難しくなった方のため、併設施設の機械浴を使用させてもらったり、併設施設と合同で行事を行ったり、外出へ出かけたりし協力している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域のボランティアの方が、月に1回慰問に来てくれる縁で地域の音楽会に出演する機会が作れ、歌を披露することができた。また地域の行事の際には市の職員が移動を手伝ってくれたりしている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 月に1回の往診を全員が受けている。往診以外にも、その都度何かあれば連絡をとり、受診できる関係となっている。家族へも毎月往診の結果を通信にて送り、その体調に変化があれば電話連絡を行っている。 | かかりつけ医は本人・家族の意向で決めているが、現在、全員が協力医の往診を月1回受けている。他科受診の基本は家族対応であるが、柔軟に対応している。家族対応時には医師への情報提供、収集をしている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 併設施設Nsとは日頃から何かあれば相談をし、助言をしてもらっている。また往診時は出来るだけ一緒に参加をしてもらっている。入居者普段から顔なじみのNsのため、処置等の際には安心させている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 協力医療機関とは日頃から電話等で連絡・相談が行える体制となっている。入院の際もムンテラに参加し、今後のことについては医師・ケースワーカーと密に連携をとって家族へ話をしている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化した場合についてはホーム内で行えること出来ないことを契約の際に説明し、納得してもらっている。また状態が変わるたびに、その都度ご家族に今後の希望を聞き、出来る限り希望に添えるようには努めている。 | 入居の際に、ホームの基準として「どのような状態になったら住み替えを検討していただくのか」家族に説明を行い、同意を得ている。多くの場合同法人の特養への住み替えとなるが、他の転居先を探す等、本人にとって一番良い方法を検討している。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 常勤職員については内部研修等で行っているが、非常勤職員については研修への参加は行っておらず資料提供のみになっているため、まだまだ十分といえない。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 施設全体で毎月1回防災訓練を行い、昼夜それぞれの想定での避難や、消火訓練、炊き出し訓練等を行っている。年に1回は消防署立ち合いの総合防災訓練を行ったり、今年から風水害時の避難訓練もやっている。 | 施設全体で月1回、避難・炊き出し訓練等を行っている。ホーム独自に風水害訓練を行い、「避難勧告」想定で3階への避難訓練を実施した。高齢福祉課からは、「避難準備情報発令後が良い」との助言を得た。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 声掛けや態度について年長者として敬いの気持ちをもった対応を行うよう気をつけている。また無理強いをするような言葉かけは行わないよう気をつけ、居室等へ入る際には声掛けやノックをし入るよう気をつけている。 | 人生の先輩として敬う気持ちを心掛け、利用者の呼称は「〇〇さん」を基本としている。トイレや着替え時は戸を閉める等、プライバシーの配慮もある。個人情報の取り扱いにも充分に気をつけている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 「なんでもいい」と言われる方が多い為、出来る限り選択肢をいくつか用意し、自己にて決めてもらえるよう声掛けの工夫をしている。また家族からの情報をもとに思いを聞いたりしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 行事や病院受診等がある際はこちらの都合に合わせてもらわなければならないことが出てくるが、出来る限りは一人一人のペースに合わせ、今日は何をしようか聞きながらレク等も行っている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご家族へ出来る限り、以前の通っていた美容室へ外出をお願いしたり、行事の際にはお化粧をする機会を作ったりしている。また、夏祭りの際にはご家族が作って下さった髪飾りをつけておしゃれを楽しんでもらった。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 誕生日の際には本人の好きな物を聞き、行事食をして提供している。また畑で野菜を作り、入居者の方に収穫をしてもらい、それを食事で提供するなどしている。また野菜の皮むきや食後の皿洗い等も行ってもらっている。 | 外部食材業者の食材を利用して、畑で作った野菜を採り入れて職員が調理している。利用者の好みの味付けにし(味見)、簡単な調理や片付け等を手伝っている。職員も同じテーブルに付き、和やかな食事風景である。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | こまめに水分補給の声掛けをしたり、本人の好むジュース等の提供を行ったりしている。また食事量が減ってきた方には本人の好むパンやおかずを家族にお願いし協力してもらっている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 起床時・就寝時は介助や声掛けにて行っており、自分で行える方には声掛け見守りし、介助の必要な方でも少しでも自分で行ってもらえるよう手を添えて行ったりしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 出来る限りこまめにトイレの声掛けをし、パッド内での失敗が少なくなるよう配慮している。またズボンの上げ下げなども本人が行えるところはしてもらい、過剰な介護はしないよう気を付けている。 | 排泄チェック表を付け、トイレでの排泄を基本としている。一人ひとりの利用者に合わせた、さりげない誘導を行っている。夜間は安全に配慮してポータブルトイレを使用している利用者もいる。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分摂取を出来るだけ多く促したり、散歩等で体を動かすことで自然な排便が行えるよう配慮している。また、腹部マッサージをしたり、排便のしやすい体勢で腰かけてもらったり工夫している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 基本的には1日おきに声掛けをし、いつでも入浴が行えるようにしている。行事等でこちらの都合になってしまうことがあるが、希望に添えない場合はきちんと説明し納得してもらっている。また併設施設の機械浴を使用されている方もみえる。 | 1日おきの入浴支援を行っており、浴槽を跨げない利用者には併設施設の機械浴もある。季節を感じる柚子湯や、乾燥肌には手作りの「どくだみ」を浴槽に入れている。ゆつたりと寛いだ時間を提供している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 食堂の座席以外にソファを用意し、そこでうたた寝をされている方もみえる。また、メリハリのため食事やお茶の時間は決めているが、それ以外の時間は居室で昼寝をされている方もみえる。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 定期薬については職員はほぼ理解しており、その都度追加になった薬については効果や副作用等調べ、情報共有している。またその都度主治医に経過報告をし指示をもらっている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 以前の生活で畑仕事を行っていた方に、職員と一緒に畑の草むしりや苗を植えてもらったりしている。また、それぞれ好きな塗り絵や編み物、縫い物等を行ってもらい、その作品を福祉まつりにて展示している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 気候の良い時期には花見等で外出を行ったり、行事食や調味料を買いに、近くのスーパーへ行っている。ただ、日常的な外出は、なかなかできていない。ご家族の方にはなじみの場所や墓参り等本人が望んでいることや場所への外出のお願いをし、協力してもらっている。 | 季節の桜見物や遠足(なばなの里)には全員で出掛けている。近隣公園・寺の散歩や買い物に出かけ、地域行事に参加している。家族の協力を得て馴染みの場所(墓参り・旅行等)への外出や、家族とともに毎日施設内の散歩を楽しむ利用者もいる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自己にて管理が行える方には持ってもらい、施設内の自動販売機で自分の好きなジュースを買ったり、売店でお菓子を買ったりしている。外出支援の際には見守りをしながら行える方には自分で支払ってもらうなどしている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 本人の希望があれば、併設施設にある公衆電話の使用をしたり、携帯電話を持参された方もみえた。また、毎年年賀状や手紙を知人に送ってみえる方もいる。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 庭に咲いていた季節の花を飾ったり、季節を感じる作品を飾っている。また季節の野菜を畑で育てて楽しんでもらったり行事の写真を共有スペースに飾っている。その他、ご家族と一緒に写っている写真を食堂に置くことで落ち着く方も見え、写真を近くに置いている方もみえる。 | 廊下やリビングには、利用者が作成した大型の貼り絵や手作りの作品が多く掲示され、趣向を凝らした作品作りを楽しんでいる。庭にある菜園では野菜が育てられ、世話や収穫に利用者が活躍している。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共用スペースでのテーブル席については気の合った入居者同士で席を決めるなど配慮している。またソファで雑誌や新聞を読んだり、うたた寝されている方もみえる。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人の使いやすい寝具を使用したり、毎日の習慣であったお勤めを行えるよう小さな仏壇を持参されている方もみえる。また本人が使いやすい家具や趣味の音楽を聴くための機械を持ってきてもらうなど、家族にも協力をお願いしている。 | 居室入口には、利用者手作りの暖簾がある。大型クローゼットや洗面台が設備され、整理整頓が行き届いている。趣味の作品や仏壇・オーディオ等、馴染みの品が持ち込まれ、落ち着いて過ごせる居室となっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室内には本人が動きやすい配置に物を置くなどし、配慮している。また、以前の浴室ではなかなか歩行が難しい入居者が増えた為、手すりを増設するなど改修も行っている。 | | |